

松高っ子



コロナ禍での運動会開催

十月二日（金）の午前中、「挑戦」協力し感動を生み出す運動会」というテーマで運動会を開催することができました。今回はコロナウィルス感染症対策を最重要視して実施しました。したがって、平日開催、午前中平日開催、三学年ずつの二交代、参観者を各家庭一名に限定、徒歩か自転車等での来校と制限を加え、自分の子供さんの出番が終了したら速やかにお帰りのいただくという方法をとりました。

保護者や地域の皆様には満足いただけなかった方もおられたかも知れませんが、子供たちにもっと他の種目もやりたかったとか、大勢の方に見てもらいたかったという思いの子もいたかも知れません。多くの方の我慢とご協力で成り立った運動会でした。



今後もコロナと向き合い子供たちの健康を第一に考えながら、出来る範囲で様々な教育活動に取り組んで行つてかなければなりません。今後とも、ご理解ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

就学時健診

来年度入学予定の子供たちを対象にした就学時健康診断を十月八日（木）の午後に行いました。

これは就学前の心身の様子を知り、保健上必要な助言等を行うための健康診断です。本来は教育委員会が主体となつて行つてなつていますが、会場やスタッフ等の選定が困難であるため学校が実施主体となり行つています。

当日は、全体会の後、発達検査や聴力・視力検査などの検査と内科及び歯科の検診を行いました。

校長の挨拶では、現在学校総体で取り組んでいる「やつしろスピリッツ」あいさつ・きき方・そろえ方の紹介と、家庭、地域、学校が三位一体となつて情報を共有し、共通理解を進め足並みを揃えることの大切さをお伝えしました。

現時点での来年度の入学予定者は百二十八名です。来年四月には元気な顔で入学してくれることを楽しみに待つています。



教育実習生が勉強中です

十月二日から二十三日までの三週間の予定で、本校卒業生の教育実習生が本校で勉強されることになりましたので紹介します。

（氏名） 板平京佳さん

（担当クラス） 五年四組

（本校卒業年） 平成二十四年度卒

（松高小の印象）

一言で表現すると「カラフル」です。いろんなカラーを持った子供たちばかりなので、毎日元気をもらっています。

（教育実習で学びたいこと）

先生方の授業から、将来役立てる指導力を学びたいです。また、現場を見て、私自身成長できる三週間になるよう頑張ります。



雑感

毎朝、子供たちの登校時刻に学校横の三叉路で旗振りを行っています。日々いろいろな気付きがあります。子供たちの挨拶はだんだん良くなってきています。中には五〇mくらい離れた所から大きな声で「校長先生おはようございませう」と挨拶する子もいます。挨拶はコミュニケーションの第一歩です。大人が率先垂範し挨拶の音が響き合う登下校にしたいものです。毎日、車で送迎してもらっている子供たちも、通学距離が長いとか、歩行での登校に危険が伴うのにも理解しています。しかし、自分の力で毎日往復する子とそうでない子には六年間で体力的にも精神力にも大きな差が生じるのではないかと感じます。暑さ寒さや気象条件に負けずに歩いて登校することは、それだけで大きな教育効果を生むはずだと思います。